

国東を 元気にする人

更生保護女性会は、更生保護制度(犯罪や非行をした人の社会復帰制度)を支える女性団体です。当会の具体的な活動として、更生保護制度への理解を広める啓発活動を行ったり、県の更生保護施設「あけぼの寮」(大分市)に生活物資を届けたりすることなどを、ボランティアで行っています。

私は会員歴26年で、2年前に会長になりました。当会は県内団体で2番目に長い65年の歴史があり、県下有数の118名もの会員がいます。これだけ活動が盛んなのは、先輩方の「社会を支えたい」という熱意を、会員がしっかりと受け継いできたからです。先輩方のご尽力に敬意をもちつつ、一方で新しいことにも取り組みながら、次の人たちに活動を引き継いでいくことが私の役目であると思っています。



「社会を支えたい」という
熱意を引き継いでいく

国東地区更生保護女性会 会長

河野 則子 さん (国東町鶴川)



◀更生保護制度を広める「社会を明るくする運動」の出発式(7月1日、市役所前)。



◀毎年「あけぼの寮」に物資を届けています。

私の宝物★

福田 ひなた ちゃん
(7か月)



武蔵町系原
父 健人 さん
母 奈々 さん

あいきょう
元気で愛嬌があってよく笑うひなたちゃん
明るくみんなに優しい女の子になってね(父母)

私の達者な秘訣

野田 三千子 さん(93歳)

国見町榑来



これまで農業に励み、イチゴを40年作りました。私は「不平不満を言わず、好き嫌いない」ことを心掛けています。学生時代から続けている短歌を楽しみながら、ゆっくり過ごしていきたいです。

お誕生おめでとう (敬称略) ()内は保護者の名前/6月16日~7月15日までの届出分

6月

- 11日 安岐町下原 渡邊 奏音 (力也・響)
- 12日 安岐町瀬戸田 森 陽紀 (暁史・淳子)
- 安岐町成久 佐藤 太賀 (昭彦・絵理)
- 14日 国東町田深 富重 結葉 (伸彦・洋子)
- 武蔵町古市 安邊 稀香 (勝輝・千里)

- 14日 武蔵町古市 安邊 橙香 (勝輝・千里)
- 21日 安岐町下原 門田 悠愛 (真樹・あゆみ)
- 22日 安岐町下原 前川 桜之介 (淳之介・葵)

7月

- 2日 国見町大熊毛 朝山 陽翔 (陽介・綾野)
- 9日 国見町野田 伊美 陽翔 (俊祐・尚美)

お悔やみ申し上げます (敬称略) 6月16日~7月15日までの届出分

6月

- 15日 国東町横手 高木 稔 (90)
- 16日 国東町浜 明石 エミコ (94)
- 17日 国見町竹田津 河田 文一 (92)
- 武蔵町成吉 清未 千枝子 (94)
- 18日 国東町北江 金澤 享 (93)
- 20日 国東町浜崎 宮園 都 (99)
- 25日 国東町小原 財前 泰徳 (86)
- 26日 国東町鶴川 本田 正子 (94)
- 29日 国東町鶴川 平野 厚子 (60)
- 安岐町下原 今富 列生 (64)
- 30日 国東町鶴川 宇佐見 一之進 (74)
- 武蔵町三井寺 相部 サダ子 (74)

- 2日 安岐町油留木 森 コキノ (95)
- 3日 安岐町成久 高木 照子 (95)
- 4日 国東町富来浦 清未 登 (91)
- 武蔵町狭間 河野 綾子 (88)
- 安岐町朝来 伊東 富士子 (93)
- 5日 安岐町下原 丸尾 正利 (83)
- 6日 武蔵町志和利 河野 満夫 (95)
- 7日 国東町北江 石川 順子 (83)
- 国東町鶴川 小野 正義 (85)
- 安岐町成久 矢野 勝子 (81)
- 9日 武蔵町吉広 清原 イチエ (97)
- 11日 国東町富来浦 吉田 善治 (85)
- 12日 安岐町下原 河野 啓一 (84)
- 14日 安岐町瀬戸田 小林 英子 (86)

7月

- 2日 安岐町山浦 安部 昭二 (93)

※掲載希望の申し出のあった方を掲載しています。

ひとのうごき 人口 26,818(-24)人 男 12,864(-8)人 女 13,954(-16)人 世帯数 13,043(-11)世帯
主な異動理由 転入58人 転出59人 出生13人 死亡36人 ()内は前月比 6月30日現在

編集後記

今、弥生のムラではオープン 20周年を記念して「弥生アラカルト(さまざまな古代体験ができるイベント)」を実施中です。私も取材に行きましたが、参加者が楽しそうに体験に挑戦している姿が印象的でした。弥生のムラは、見て、体験して「弥生時代の知恵」が楽しく学べる施設です。今回の特集で、弥生のムラに改めて興味を持ってもらえるとうれしいです。(矢野)

◆今月号の表紙



～みんなで楽しく古代体験「弥生アラカルト」～

7月17日(土)、弥生のムラで古代体験イベント「弥生アラカルト」が行われました。「発掘体験」に挑戦していたのは、志成学園4年の徳丸貴哉さん(左下)。なかなか大きなものが出てきませんでしたが、体験終了間際に大きな土器片が見つかったと、うれしそうに掲げていました。また、「ウッドアクセサリーづくり」に挑戦していたのは、国東小6年・2年の萬彩葉さん・桜介さん姉弟(右上)。2人は「初めての体験だったけど、すごく面白かったです。よくできたので、友達や先生に見せてあげたいです」と笑顔で話していました。